



「自律・自走し考動する 80 期生」

■ Good Practice 80! ①

現在、80 期の生徒に中で主体的に学習に取り組んでいる実践例を紹介していきます。学習方法に唯一の正解はありませんが、成果につながっている人には共通する工夫があります。周りの取り組みを参考に、自分なりの学習スタイルを高めていきませんか？

A2 から S1 に！

スタサポの学力結果が伸び、平日は2時間、休日は3時間学習を続けられているという A さん。その秘訣は—

入学した頃は、スマホをたくさん使ってしまったいて、特にショート動画をずっと見てしまうことが多かったです。楽しくてやめられず、家の中の離れた場所に置いたり、使用制限をかけたりもしたんですが、なかなかうまくいきませんでした。1 年の後半に入って、「このままじゃだめだ」と思って、一念発起して勉強のやり方を変えました。まず、平日は、「何時間やるか」だけでなく、「何をどれだけやるか」を決めるようにしました。例えば、サクシードを1日4ページ進めるといったように、具体的な量で管理するようにしました。また、復習も自分で計画して取り組むようにしました。

さらに、最近は「ワークをただやるだけじゃもったいない」と感じるようになってきて、できるだけ理解を深めることを意識しています。古典や数学では、発展的な問題にも取り組んで、より深く理解できるようにしています。あと、勉強時間を増やすために、スキマ時間も大事にしています。いつでも勉強できるように、必要なものは画像にして持ち歩くようにしています。

貴重な実践を共有いただきありがとうございます！まとめると…

- ☑ スマホ対策は「環境」だけでは不十分
- ☑ 「時間管理」から「課題達成型」へ転換
- ☑ 学習量だけでなく理解の深さを重視
- ☑ スキマ時間も活用できるように

日々の学習時間や取り組み方は、自分では気づきにくいものだからこそ、時々客観的に振り返ってみることが大切です。「平日 90 分・休日 180 分」は、あくまで学習習慣をつくるための基本的な目安です。（目標ではない）

進路実現に向けては、登校や生活を安定させ、普段の学習をより充実させていくことがポイントです。

「知的体力＝粘り強さ」。各教科からの考査解き直しや模試に向けての準備など、この6月こそ成長期です。予習・復習の仕方や授業への向き合い方を見直しながら、学習の「質」と「量」の両方を追求していきましょう。

■ ミラクルチャレンジ・GLHS 講演

いま案内中のものから。実際にその場で学べる貴重な機会がそろっています。

SSHイベント・「西はりま天文台天文学研修」

(7月20・21日実施)

昨年は実施が叶わなかった、国内最大級の望遠鏡を使った天体観測研修です。(過去に2回引率した際はいずれも、見事な流れ星群を観測できました。)

GLHS 合同・KuritaInnovationHub 体験ツアー(7月30、31日実施)

昨年からの理系企業研修イベントに今年は東京農工大学訪問も加わりました。理系だったらこんな社会人に、なんて「タラレバ」を感じてしまいました。

GLHS対象・哲学講演会「群れから逸れて生きるための考え方」(7月16日校内実施)

『スマホ時代の哲学』『人生を外れる衝動のみつかけかた』などの著作で、哲学を身近に感じさせてくれる若手哲学者・谷川嘉浩氏をお招きします。ポッドキャストやYouTubeでも、やさしく知的な語り口に定評のある方です。

■ 大学見学会

国立総合大学として、大阪大学での学びや学生による講演、施設見学などをさせていただきます。来週詳細を連絡します。質疑応答や図書館・Q I Q B見学などを通して、「経験」にかえていきましょう。

豊中キャンパス (※吹田・箕面キャンパス

もあるので間違えないように)

9時10分 会場にて集合・点呼

文系(1～4組) シグマホール

理系(5～9組) 大学会館講堂

13時30分 キャンパス最終退出

■ 当面の予定 手帳にメモしよう!

6月

18日(木) 大学見学会

25日(木) プチベーシックテスト①

科目選択説明会

進路希望調査・アンケート

7月

2日(木) ベネッセ総合学力テスト

(英数国3教科記述)

8日(水)～懇談期間・午前授業